

【米ドル】 米金融政策の不透明感から売買交錯が続く

	直近1週間のレンジ	今後1週間の予想レンジ	今後3ヶ月の予想レンジ
ドル/円	153.22-155.04円	153.00-155.50円	145.00-160.00円

米ドル/円相場は、1ドル＝155円水準まで値上がりする展開になった。米政府機関閉鎖が解消されたが、低調な経済指標でも米連邦準備制度理事会（FRB）が追加利下げを見送る可能性から、米金利上昇・ドル高が促されている。複数の米金融当局者が、インフレ圧力の強さ、米政府機関閉鎖で十分なデータを収集できていないため、追加利下げに慎重な発言を行っている。一方、9月時点の当局者の想定では年内利下げ回数は3回であり、その時と比べてインフレ環境の悪化・労働市場の改善が進んでいるとは言い難い。このため、12月追加利下げの有無を巡ってマーケットの見方は五分五分との評価に傾いている。一方、利下げ期待の後退は株価を不安定化させており、ドル買いと同時に円買い圧力も発生させている。結果的に、ドル/円相場は155円台を維持するまでの勢いはなかった。

今週も底固いが不安定な値動きが続く見通し。米連邦公開市場委員会（FOMC）まで1ヵ月を切っているが、マーケットは明確な見通しを描けていない。米経済指標の発表が再開されるため、その結果に揺れ動く展開になろう。特に20日には9月分の雇用統計が発表される。過去の統計になるが、ここで労働市場の減速懸念が強化されると、改めて利下げ期待からドルの上値が重くなりやすい。しかし、その際には株価反発がドル/円相場を支援する見通しであり、上下どちらの方向にも一方的な展開にはなりづらい。高市政権の積極財政に対する警戒感もあって円が売られやすい環境が続くが、155円台では当局から円安けん制の動きも強まりやすい。現行価格水準で売買が交錯する見通し。

サイコロジカルは、前週の8勝4敗から7勝5敗に。14日RSIは63.71。

注目イベント

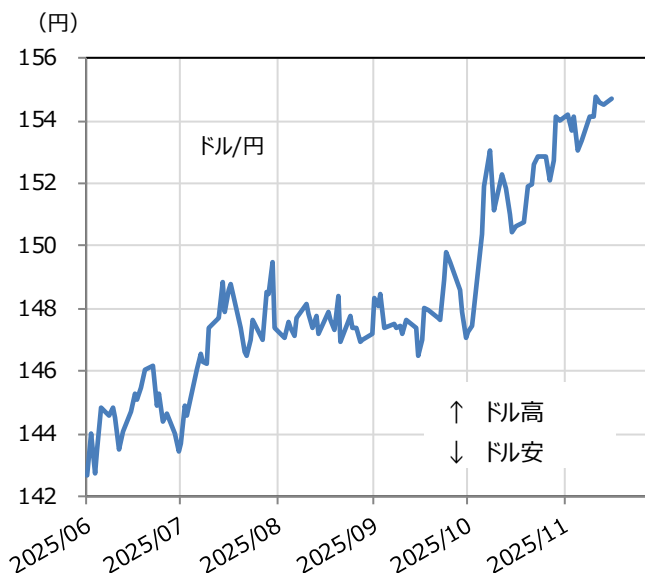
【 米国 】

- 11/17 (月) 11月ニューヨーク連銀製造業指数
- 11/18 (火) 10月鉱工業生産
- 11/18 (火) 10月消費者物価指数
- 11/18 (火) 10月小売売上高
- 11/18 (火) 10月卸売物価指数
- 11/19 (水) 8月耐久財受注
- 11/19 (水) 10月住宅着工件数
- 11/19 (水) FOMC議事要旨
- 11/20 (木) 9月雇用統計
- 11/20 (木) 新規失業保険申請件数

※政府機関閉鎖解消後でイレギュラー

【 日本 】

- 11/17 (月) 7～9月期GDP
- 11/17 (月) 9月鉱工業生産
- 11/19 (水) 9月機械受注
- 11/21 (金) 10月消費者物価指数



政策金利一覧

(%)	日本	米国	ユーロ圏	豪州
				
2023/01	-0.10	4.50	3.00	3.10
2023/02	-0.10	4.75	3.00	3.35
2023/03	-0.10	5.00	3.50	3.60
2023/04	-0.10	5.00	3.50	3.60
2023/05	-0.10	5.25	3.75	3.85
2023/06	-0.10	5.25	4.00	4.10
2023/07	-0.10	5.50	4.25	4.10
2023/08	-0.10	5.50	4.25	4.10
2023/09	-0.10	5.50	4.50	4.10
2023/10	-0.10	5.50	4.50	4.10
2023/11	-0.10	5.50	4.50	4.35
2023/12	-0.10	5.50	4.50	4.35
2024/01	-0.10	5.50	4.50	4.35
2024/02	-0.10	5.50	4.50	4.35
2024/03	0.10	5.50	4.50	4.35
2024/04	0.10	5.50	4.50	4.35
2024/05	0.10	5.50	4.50	4.35
2024/06	0.10	5.50	4.25	4.35
2024/07	0.25	5.50	4.25	4.35
2024/08	0.25	5.50	4.25	4.35
2024/09	0.25	5.00	3.65	4.35
2024/10	0.25	5.00	3.40	4.35
2024/11	0.25	4.75	3.40	4.35
2024/12	0.25	4.50	3.15	4.35
2025/01	0.50	4.50	2.90	4.35
2025/02	0.50	4.50	2.90	4.10
2025/03	0.50	4.50	2.65	4.10
2025/04	0.50	4.50	2.40	4.10
2025/05	0.50	4.50	2.40	3.85
2025/06	0.50	4.50	2.15	3.85
2025/07	0.50	4.50	2.15	3.85
2025/08	0.50	4.50	2.15	3.60
2025/09	0.50	4.25	2.15	3.60
2025/10	0.50	4.00	2.15	3.60
2025/11				3.60
2025/12				

注意事項

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。

本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。

本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。

本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

発行会社

【会社名】 マーケットエッジ株式会社 (Marketedge Co., Ltd.)
【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号
【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>
【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

【執筆者プロフィール】

マーケットエッジ株式会社 代表取締役/商品アナリスト 小菅 努（こすげ・つとむ）
1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物取引会社の営業本部を経て、同時テロ事件直後のニューヨーク事務所にてコモディティ・金融市場の分析を学ぶ。帰国後は調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社代表に就任。金、プラチナ、原油、天然ガス、天然ゴム、コーン、小麦、大豆、コーヒー、ココア、砂糖、綿花などのコモディティ市場を中心に、金融市場もカバー。主に法人向けのコモディティレポート配信、寄稿、講演等を行う。

E-mail: kosuge.tsutomu@outlook.com

Twitter @kosuge_tsutomu